

東南保健大学  
(水原、専門大学)

濱名 篤

1. 大学の概要:

1973年設立。学生数4,500人

学科構成: 学科によって2年制: 観光日本語学科、観光中国語学科、Eビジネス学科、ウェブコンテンツ学科

3年制: 保育、幼児教育、保健系

3+1年制(後述): 放射、臨床病理

2年制が主であった専門大学に3年制が増加したのは金大中首相時の政策(3年化)以降である。

2. 訪問日時

2008年5月28日 11:00~13:30

3. インタビュー対象: 東南保健大学 朴成玉学長

Hong Wan Sung, 学生部長

Jung-Eun Ko, 教務部長 他

調査訪問者: 濱名

4. 入試方式・方法

入試倍率: 観光科 30倍以上、理学療法士 30倍以上 平均 20倍である。

入試区分は随時1, 2次と定時入試にわかれ、計3回の入試である。

随時1次は7月(競争率 100倍)。定員の10%を取ることを義務づけられており、その割合を入学させている。随時2次は11月(競争率 30倍)。定員の30%を合格させている。

定時は12月末-1月に実施しており、競争率は10-15倍。定員の60%-65%がこの方式で入学する。

入試区分別の割合は、定時、随時とも毎年検討している。専門大学であるため、4年制大学より少しずつ遅く設定されている。一般的に、随時の枠が大きいのは募集力の弱い学科や大学である。

入試方法としては、随時は非学力選抜で、定時が学力選抜である。

随時入試では高校成績が100%であり、筆記試験や面接等は実施していない。同大学校が専門大学であるためか、4年制大学卒業生も受験してくる。こうした四大卒は、無試験で特別典型として定員以外で入学させることができる仕組みになっており、人気学科には有名大卒も入学してくる。

募集力の強い大学では、「随時」合格者も統一入試受験して最低基準越えないと合格取り消し制度がある(本学で採用しているとはいわなかった)。

定時入試では、統一試験 60%で高校成績 40%という配点である。高校の成績の扱いについては、高校差があるので、教育部が作成する教育行政情報システムから高校についての情報を取って参考になっている。

#### 5. 共通テストあるいは入試成績と入学後の成績との関係

定時入学者の方が学力は高いという実感はあるが調査はしていない。答案を見ると一目で定時入試者か随時入学者かがわかる程の違いである。

近年いわれているような、学力低下について本学ではあまり感じない。その理由は、前述のような入試倍率の高さを維持しているため、水原の都市化による人口増加、保健系の国家試験分野であること、国試合格率・就職率の高さなどの相乗効果で高倍率が維持できている理由であろう。本学は、保健等就職に強い学科が多く、今年は少し減ったが受験生数も5年前と差はない。

とはいえ水準を維持するため、国家試験系学科は、試験対策のため12月から補習はしている。問題の、農漁村入学(僻地校特別入試)も何とか着いてきており、理学療法科も国試合格95%と高水準である。

地方僻地校を対象とした僻地校特別入試は地方へのソウル大学も含めた進学機会を分配するために設けられたものであり、本学では以前より農漁村枠入学採ってきたので大きな方針変更ではなく、定員の4%をこの特別選抜に割り当てている。専門大学は本学に限らず、入学定員の4%が目標とされているが、定員外の扱いである。この特別選抜の入試方法は、高校成績(統一試験は受けない)のみであるが、それも悪い制度の一因だと思う。しかしこの入試の合格者は、国からの保証で、銀行から無利息で教育ローンを借りられる(一般的には韓国の教育ローン取り立て厳しいし、利息5%)など、優遇度が大きい。これは、ソウルと地方との学歴格差が問題化した経緯と関係している。教育の平等化のためという目的の下、教育部が国家レベルでの国家内でのバランス(政治家・マスコミの発案ではない)を考えて作った制度である。元々は、地域住民の要求が始まりであった。定員外なので大学には収入増で良いが、総じて入試成績は悪い。学校指定で対象者が決められ、教育部が対象校を指定する。結果的には、(孟母三遷ではないが)この枠をねらって転居する例(家族揃って、あるいは子どもだけが単身寄留)も大学によっては出ている。

#### 6. 大学入試の問題点(個々の大学大学および国の課題)

前述のように、僻地校特別入試や随時入試によって、学力以外の要因(どの高校をでるか)が重要になってきたりして、学力の低い学生が進学してくることを問題視している。

共通テストが高校教育に及ぼしている影響よりも他の入試の方が問題視されている。

全国的に、随時 1 次は来年からなくなる。理由は、前期 7 月実施で高校教育を阻害するためだとされている。むしろ随時入試や僻地校特別入試の方が問題は大きいと思われている。随時入試 1 次をなくすのは良いことだ。随時入試 2 次と定時入試は、時期的に早すぎないので高校教育への悪影響などの点からみて、無理なく実施できるようになった。

学生の質という面からみれば、随時入学者は少ない方が良い。元々は学生達に機会提供という目的であったが、大学入学先が決まったら勉強しなくなる。それが問題であるが、随時入試という制度の全否定ではない。・随時 1 次で合格すると、もう他大学は受けられない。随時での受験先は実力より上を受けて、合格すればもうけものという感じで受験しており、総合的にみて良い入試だとは思わない。

## 7. 高大接続上に問題点

高校からは、成績に加え、生活記録譜（担当教員コメントも）を出願時持ってくる。本学では、高校の成績は得点化するようにしている。出席率を点数化する大学もある。得点化の方法については、2-3 年で一番成績良かった学期の成績を評価し得点化している。しかし、高校の調査書は当てにならない。特に、職業高校の成績のつけ方は甘い。その甘くて高い成績を利用して、随時合格をねらうものが多いことは問題である。随時入試や僻地校特別入試

## 8. その他

### 1) 専門大でも 4 年学べば「学士号」

専門大には現在 1-5 年のコースが併存。2-3 年制から中心から 4 年課程への移行をめざしつつある。全国専門大学学長協議会は 4 年以上の課程については「大学 university」と名乗らせ、学士号を出せるように決議し、08 年より 77 専門大学が「4 年深化課程」を設置した。基本は 3+1=4 年という方で考え方であり、従来の 3 年制卒(社会人)がもう 1 年学習しても学士号を与えると言うものである。3+1 だけでなく 2+2 でも学士号という考え方で、専門大でも深化課程での学習を含め 4 年学習すれば学士号という仕組み。

基本的には希望する専門大が教育部に申請し、教員数、TS 比、施設設備等を審査し、認可されれば設置と学士号付与が認められる。この制度は、金大中政権当時の 10 年前から検討されてきたもので、同大学を例に取れば、東南保健専門大から、東南保健大への名称変更(制度的には専門大のまま)を経て、3+1 制に移行しつつある。政府は、専門大学の大学への転換には肯定的ではないが、専門大も存続していかなければならず、この制度は存続・定着していこうというのが本学のような専門大学の見方である。

近年、教育部が大学の自主的な判断を尊重するようになったことは歓迎している。

2) 2008. 10. 1 インターネットで各大学・専門大学の情報公開が義務化される。  
内容は、学則、財政、就職率、国試合格率、資格、奨学金、教員業績などである。

3) インターネット出願 7 年前(随時も定時も)から。この制度は学生には出願が楽になった。大学にとっては、手間がかかる側面もあり(例:教育部データは 3 年前以上のデータないので困ったことがある)。

## 釜山大学

渡邊 達雄

日時：2008年3月24日〈月〉11時～12時半

インタビュー対応者：イ・チャンス〈入学管理本部・研究チーム長〉

1. 入学選考の方法

区 分	随時2学期募集	定時募集	
		[가]群	[나]群
○ 一般選考 〈定員内〉		1572名 →4.の2)を参照	750名 →4.の2)を参照
○特別選考 〈定員内〉			
－高校生活優秀者	1606名（学生簿、面接・口述試験、 <u>3段階選抜</u> ）		
－Premier-PNU選考	145名（学生簿、面接・口述試験、 <u>2段階選抜</u> ）		
・ 人文・社会系列	132名（学生簿、面接・口述試験、 <u>2段階選抜</u> ）		
・ 理工系列	71名（学生簿：教科領域・非教科領域、面接・		
－ヒョオン人材	口述試験、 <u>2段階選抜</u> ）		
－社会的配慮対象者	48名（学生簿、面接・口述試験、 <u>3段階選抜</u> ）		
－体育特技者		10名	
○定員外募集			
1.機会均衡選抜			
－農漁村学生	173名（学生簿：教科領域・非教科領域、面接・口述試験、 <u>3段階選抜</u> ）		
－低所得層	130名〈上記に同じ〉		
－専門系高校出身者	71名（上記に同じ）		
2.特殊教育対象者 〈随時〉	21名（上記に同じ）		
3.在外国民ならびに 外国人〈随時〉	入学定員の2%以内		

2. 入学管理本部等の組織構成と分担業務について

- ・本部長と副本部長は教員、それ以外はすべて国家公務員
- ・入学査定官制度が今年から開始されるに伴い、非教科領域分析が必要となり、職員の配置を計画。

### 3. これからの方向性

- 1) 特性化大学を中心に、優秀な学生を全国的に募集する→特性化を誘導する入試
- 2) 高校教育正常化および能力向上の可能性が高い学生を誘致するためのAO型入試の拡大
  - ・釜山大は、内申書：修能の反映が2：1。他の大学は修能の割合を高めている。高校教育の正常化のために、独特な方法をとっている。
  - ・レベル1、2の差は10点と内申書の実態がそのまま反映される方式をとっている。
  - ・基本的には内申書を信用していないが、それでも、釜山大は内申書を可能な限り、学生選考に反映しようと努めている。高校教育そのものを反映させたいという考えから。
  - ・高校等級化の施策と期待。

### 4. 入学選考における修能試験の活用及びその他の選考要素

定員全体のうち定時56%、随時44%の割合

- 1) 随時募集 修能を受ける前に行われる試験。  
募集では最低学力基準を設定した上で、等級活用（3等級以上）
- 2) 定時募集 「ガ」群では、修能45% 内申書45%、面接10%  
[ナ]群では、1段階で修能で優先選抜50%  
修能以外では、学生簿〈教科・非教科領域〉、面接、口述、論述

### 5. 修能試験と関わって進めている研究等

- 1) 2005年の優秀学生の誘致のために開発した大学入学選考制度の分析
- 2) 2008年度大学入学選考制度の研究・開発
- 3) 2008年度の大学入学選考の要素別の適用方法の研究

上記の1) 2) 3)に加えて、内申書と入学後の成績との関係について研究を進める必要がある。いずれにしても、高校と大学との信頼関係が一番大事。しかし、最高の解決方法はない。

### 6. 修能試験が高校教育に与える影響について

- ・ 修能の点数を高めるための私教育（塾・予備校）の横行・私教育費の増大
- ・ 公教育の正常化の難しさ

7. 韓国の大学入試制度にかかる課題・論点および解決策

- ・ 課題 頻繁な入試制度の変更、高校教育の正常化、私教育問題、高校等級制適用に対する消極的な姿勢
- ・ 解決策 AO型入試拡大、高校教師の努力等

8. 高校教育と大学入試の間の関係を改善するために求められる方策

- ・ 高校での教育活動および生徒の活動内容が100%反映できる大学入学選考制度の検討

## 国立ソウル教育大学

2008年3月21日

### Purpose:

To collect data on various admission measures of Korean universities  
(韓国の大学の入学制度に関する資料収集)

#### ▶ 大学入学選考参考資料

- 2009学年度 大学入学選考基本計画 [教育部 / 韓国大学教育協議会]
- 2008学年度 大学入学選考(随時及び定時) 募集要綱 [ソウル教育大学校]
- 2008/2009 大学要覧 [ソウル教育大学校]
- 2009学年度入学選考主要事項案内 [ソウル教育大学校報道資料]
- 2009学年度入学選考主要事項発表 [韓国大学教育協議会報道資料]

### Specific interview questions:

1) We have analyzed your website. But, we still appreciate it if you could briefly explain your university's philosophy of admission system and various admission mechanisms and criteria

ウェブサイトの情報を見ました。貴大学の入学選考制度の哲学及び多様な入学選考方法と基準などを簡単に説明して下さい。

#### \* 大学の教育基本事項

1	大学の性格
---	-------

当大学は小学校教師を養成する大学で、教育者としての資質を持ち教職の専門性を持つ全人的人格を備えた教育者を確保するための教育を実施する大学である。

そのため、当大学は2世の国民を教育できる人格と能力を持ち、国民の模範として韓国教育の発展のために一生を捧げて奉仕できる教育者を養成する使命を持つ。

2	教育目的
---	------



当大学の目的は大韓民国の教育理念のもと、国家と社会発展に献身できる教育者として、人格と資質を備えた有能な小学校教師を養成することにある。

ア. 国家を愛し民族の幸せと繁栄のために全力を尽くす人間を養成する。

立派な教育者になるには、まず立派な国民にならないといけない。教育者は国民の模範として、国民を教導する使命感が必要である。そのため、当大学では学生らをしてこの国の発展とこの民族の幸せのために献身・奉仕しようという確固たる信念を培養させ、民主国家建設に率先参与できる民主精神に透徹した教育者を目指す。

イ. 民主主義社会の生活に必要な能力と態度を培養する。

民主主義は我が国家の理念であり、韓国国民の生活を秩序と繁栄に導くことのできる理想的な生活態度である。そのため、当大学では学生をして民主主義理念を明確に理解し、社会生活を効果的に営むことのできる能力を育て、韓国社会をよりよい民主社会へと建設していくために献身しようという生活態度を確立させる。

ウ. 教師として備えるべき健全な人格を育て、教育愛が高い献身的な生活態度を確立させる。

教師は学生の鏡である。教師の人格はそのまま学生に感化される。そのため当大学では学生をして円満な徳性と健康な身体と物事を正しく判断する叡智を持たせ、教職に関する確固たる価値観を持たせる。

エ. 児童の成長発達と行動を正確かつ幅広く理解できる能力を開発する。

児童は休みなく成長し発達する。そのため教師はまず子供の発達過程と個性、欲求などの特殊性を理解することで正しい指導ができる。従って当大学では学生らをして人間成長の発達過程の研究、児童の行動の観察と分析、小学校の生活に直接参与し、児童の学習指導に対する実際の体験などを豊かにし、その機会を多く持つようにする。

オ. 小学校各教科を正しく教えることのできる実力を培養し、教授学習能力を修得させる。

教師が子供たちの教科学習を正しく進めていくためには、教師自身が教科教育に対する実力を備え、あわせて教授学習資料に対する指導技術を身につけるこ

とが必要である。そのため、当大学では学生をして小学校全教科にわたる教授学習資料の製作と活用、教職教育で修得した原理及び技能の効果的な活用などに重点をおく。

3P

カ. よりよい教職発展のために努力する研究姿勢を育てる。

日に日に新しく精進する者のみが師匠になれる。教師は自己成長のために誰よりも不断の努力が必要である。そのため当大学では学生をして真摯な研究態度を育て、教師に必要な教育体験と研究活動を持続的に行い、教育の発展に努力させる。

キ. 教職の使命に対する深い認識を通じ、教育者としての確固たる信念を持たせる。

教職は一つの職業ではあるが、他の職業とは性格が違う。教職は2世である国民を教導する聖職であると言える。そのため当大学では学生をして教職の重要性を深く悟らせ、教職の専門性を高めるために最善の努力を傾ける。

\*入学選考の方法及び基準(2009 学年度)

### 1 募集時期及び選考類型別募集人数

大学	所在地	募集時期	定員区分	選考類型(大分類)	選考類型(小分類)	その他(細部)類型	募集人数
ソウル教大	ソウル	随時2	定員内	大学別独自の基準	教科成績(内申)優秀者		80
				大学別独自の基準	特定選考優秀者	特定領域集中履修者	80
			小計				
		定時(ナ)	定員内	一般選考	一般学生	一般選考	335
				大学別独自の基準	国家有功者及び子孫	国家(独立)有功者(孫)子女の特別選考	5
				大学別独自の基準	少年少女家長	少年少女家長特別選考	5
			定員外	農漁村の学生(定員外)	農漁村の学生	農漁村学生特別選考	20
				特殊教育対象者(定員外)	特殊教育対象者	特殊教育対象者特別選考	10
		小計					375

合計				535
----	--	--	--	-----



																			付与
2009	定時(ナ)	師範	初等教育科	標準点数	4	25			25	25									なし

#### 4. 面接、口頭考査

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	面接資料	面接基準	面接方法
2009	定時(ナ)	師範	初等教育科	大学開発独自ツール	教師としての品性と資質及び大学修学に必要な能力などを総合的に評価	-独自開発項目を活用し評価 -教職、教養など評価要素別面接

#### 5. 論述考査

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	論述類型	出題形式
2009	定時(ナ)	師範	初等教育科	統合教科的論述型	*形式：資料提示型 *時間及び分量：100分 1,400単語前後 *水準：高等学校の全過程を正常に履修した者が無理なく答案を作成できる水準 *傾向：創意的、論理的、批判的思考能力と幅広い読書を要する問題

6. (特別選考)資格基準及び選考要素別反映方法

学年度	募集時期	募集人数	選考類型	志願資格	最低学力基準	選考要素別反映比率(100%)
2009	随時 2	80	教科成績(内申)優秀者	*2009.2月に国内高校卒業予定者(早期卒業者を除く) *高校成績優秀者で、所属高等学校長から推薦を受けた者(高校別推薦人数3名以内)	適用(細部基準は追って発表)	*学生簿 60% *論述 20% *面接 20%
		80	特定専攻優秀者(特定領域集中履修者)	*国内・外の高校卒業(予定)者 *学生生活記録簿上、該当領域の教科を所定の一定単位以上履修した者	適用(細部基準は追って発表)	*論述 50% *面接 50%
	定時(ナ)	5	国家有功者の子女	*高等学校卒業(予定)者又はこれと同等以上の学力があると認定された者で、2009学年度大学修学能力検定試験に応募した者 *次の各号の一つの事由に該当する者 -[国家有功者など礼遇及び支援に関する法律]第4条第1項各号に該当する者の子女及び孫 -[独立有功者礼遇に関する法律]第4条の各号に該当する者の子女及び孫(外孫子女)	適用(細部基準は追って発表)	一般選考と同一

「社会生活障害者支援法」に関する

			<p>法律] 第7条第9項(枯葉剤後遺疑症患者中、手当て支給対象者)に該当する者の子女</p> <p>-[5.18 民主有功者礼遇に関する法律]第4条各号に該当者の子女</p> <p>-[特殊任務遂行者支援に関する法律]第3条第1号ないし第3号に該当する者及び子女</p>		
	5	<p>少年少女家長</p>	<p>*2009.2月、国内の高等学校卒業予定者で2009学年度の大学修学能力試験に応募した者</p> <p>*該当居住市の市、群、区庁長が指定した少年少女家長として国民基礎生活保障受給者</p>	<p>適用(細部基準は追って発表)</p>	<p>一般選考と同一</p>

6-1 農漁村学生特別選考(定員外募集)

学年度	募集時期	募集人数	志願資格	最低学力基準	選考要素別反映比率(100%)
2009	定時(ナ)	20	<p>ア. 農漁村地域(地方自治法第3条による邑・面)に所在する高等学校で全教育過程を履修、卒業(卒業予定者を含む)した者で、2009 学年度の大学修学能力試験に応募した者</p> <p>イ. 高等学校修学中、保護者が農漁村地域(邑・面地域)に居住した者(死亡、離婚その他の事由に該当する保護者は父又は母のみを基準とする)</p> <p>※2つ以上の学校に在学した場合、該当学校全てが必ず邑・面に所在する高等学校であること(同一邑・面でなくても可能)</p> <p>※保護者、学生の居住地は学校所在地と同一の邑・面でも可能</p> <p>※高等学校在学当時の行政区域単位を基準に適用するが、高等学校在学当時、邑・面だった行政区域が在学中または卒業以降に洞に改編された場合には当該地域を邑・面と認定する</p> <p>※江原道太白市地域の高等学校(ファンジ高、ジャンソン女子高、チョルアム高、太白機械工高、ファンジ女子商業高)は邑・面地域高等学校と認定</p> <p>※邑・面所在の特殊目的高のうち、科学高、外国語高、</p>	適用(細部基準は追って発表)	一般選考と同一



			芸術高及び体育高に在学した者は除く		
--	--	--	-------------------	--	--

6-2 特殊教育対象者別選考(定員外募集)

学年度	募集時期	募集人数	志願資格	最低学力基準	選考要素別反映比率
2009	定時 (ナ)	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高等学校卒業(予定)者又は同等以上の学力があると認定される者で、2009 学年度の大学修学能力試験を受験に応募した者</li> <li>○障害者福祉法第 29 条により障害者登録を済ませ、特殊教育振興法第 10 条の規定による障害がある視覚障害、聴覚障害、肢体不自由障害者</li> <li>○本大学特殊教育対象者選定手順に従い 2009 学年度 の特殊教育対象者に選定された者</li> </ul>	適用(細部基準は追って発表)	一般選考と同一

2) Please briefly introduce your admission Office

貴大学の入学事務局/入学管理本部について簡単に紹介して下さい。

\* 教務部(入学担当部署)紹介

教務所長

教務委員

教務チーム

教務管理

授業チーム

授業管理

大学総合サービスセンター

[分掌業務]

[教務チーム]

- \*学則制定及び改・廃に関する事項
- \*教育過程の運営及び学士管理
- \*入学選考業務
- \*卒業、休学など学績管理
- \*教員人事、教員服務、校内外の他大学の単位認定など教務管理
- \*教員の学術・研究活動管理
- \*教員研修及び褒賞
- \*大学総合サービスセンター運営
- \*学績照会、教員資格証発給、その他教務に関する事項

[授業チーム]

- \*授業運営及び受講申請など
- \*試験及び成績管理
- \*教員実習及び講義評価に関する事項
- \*時間講師委嘱及び講師料支給に関する事項

- \*入学選考関連委員会の現況

[入学選考管理委員会]

- 構成：主要補職教授及び学科長(総 17 名)
- 機能：大学入学選考管理に関する重要な事項を審議・確定

[入学選考小委員会]

- 構成：教務所長及び教授(総 7 名)
- 機能：大学入学選考に関する事項を実務的に検討し、大学入学選考管理委員会に報告(提出)

[入学選考公正管理対策委員会]

- 構成：教務所長及び教授(総 7 名)
- 機能：大学の入学選考業務の公正性確保のための不正防止対策樹立及び入学選考業務を独自の監査

- 2) Please provide of your future plan or prospective to revise the current admission system if you have any. (e.g. reasons for the

revision, general directions, specific measures ect.)

貴大学の現在の入学制度を修正する計画があれば、その理由及び方法を簡単に説明して下さい。

#### \*入学制度の改善方案推進

##### \*〈必要性 1〉

-韓国の大学入試政策は大学の自律権をだんだんと拡大する方向で推進されてきており、特にイ・ミョンバク政府の方針として入試制度運営においての大学の自律権が大きく増大した。

-従って今後、大学入試関連教育政策の変化を予測して対処する必要がある。

##### 〈必要性 2〉

-最近になって当大学は制限された範囲内ではあるが、入学選考を多様化するために努力をしている

-一般選考と特別選考の運営における問題点を確認し、これを改善するための努力を傾ける必要がある

#### \*研究目的

-入試制度を取り巻く教育環境を分析し、その変化過程に柔軟に対処できる方案を求める

-現行の当大学の入試制度運営上の問題点を分析し、これを改善するための方案を求める

#### \*研究の内容及び範囲

- 大学入試制度運営に及ぼすことのある多様な変化要因を分析

○高校生の卒業生の進学推移、教育大学の入学競争率の変化推移など、各種統計資料を分析

○大学統廃合論議など、大学入試制度に直・間接的な影響を与えることのある制度的要因を分析

-イ・ミョンバク政府の大学入試政策の基調分析

○現在まで明らかにされた内容は、イ・ミョンバク政府の主要教育政策としては(1)高校の多様化 300 プロジェクト、(2)3段階の大入自律化、(3)小・中等教育の地方教育庁への移管などがある

○これらの様々な政策の中で特に ‘3段階大入自律化’ 政策(学生簿及び修能

試験反映の自律化→修能試験科目縮小→大入制度の完全自律化)は当大学を含む全ての大学の入試政策に直接の影響を及ぼすことと予想される。

-当大学の入試制度運営上の問題点の分析及び改善方案の提示

○2008年現在、当大学は一般選考以外に (1)国家(独立)有功者の子女(孫)特別選考、(2)少年少女家長特別選考、(3)農漁村学生特別選考、(4)特殊教育対象者特別選考などを導入し学生を選抜している。

○選考施行過程で表れる問題点の把握及び改善方法を検討

4)How does your university use the CSAT (College Scholastic Ability Test) for its admission decisions and what measures other than the CSAT (e.g. recommendations, interviews, university exam, contribution etc.) does the university use for the admission decisions?

貴大学の入学選考では修能試験の点数をどのように利用していますか？修能試験の点数以外にどのような要因(推薦、面接、本考査、寄与など)を入学選考に利用していますか？

▲大学修学能力試験の反映方法

□大学修学能力試験の領域別反映比率

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	修能試験成績活用指標	反映領域数	修能試験領域別 反映比率(100%)											反映領域選択及び加算付与			
						言語	数理領域			外国語	探求領域							第二外国語/漢字		
							力	ナ	カ/ナ		社会	科学	職業	社/科	社/職	科/職			社/科/職	
2009	定時(ナ)	師範	初等教育科	標準点数	4	25			25	25					25					無し

□大学修学能力試験の領域別加算付与及び特定科目を反映

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	修能試験領域別 反映比率(100%)												反映領域 選択及び 加算付与
				数理(力)		社会探求		科学探求		職業探求		探求 領域 点数 反映 方法				
				自由 選択	科目 指定	反映 科目 数	自由 選択	科目 指定	反映 科目 数	自由 選択	科目 指定		反映 科目 数	自由 選択	科目 指定	
2009	定時 (ナ)	師範	初等教育科	○	×	4	○	×	4	○	×				平均	無し

▲修能試験の点数以外の反映領域

□面接・口頭考査

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	面接資料	面接基準	面接方法
2009	定時(ナ)	師範	初等教育科	大学開発 独自ツール	教師としての品性と資 質及び大学修学に必要な 能力などを総合的に 評価	-独自開発項目を活用 して評価 -教職、教養など評価要 素別面接

\*論述考査

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	論述類型	出題形式
2009	定時(ナ)	師範	初等教育科	統合教科 的論述型	*形式：資料提示型 *時間及び分量：100分 1400単語前後 *水準：高等学校の全過程を正常に履修した者 が無理なく答案を作成できる水準 *傾向：創意的、論理的、批判的思考能力と幅広い 読書を要求する問題

5) What relationships do you find between the CSAT scores (or other measures) and learning achievement in the university (e.g. GPAs)? Do you have any empirical study data regarding this question?

修能試験の点数（又は他の選考要因）と大学入学後の学業成就(単位など)には何か関係がありますか？もしこれに関連した研究結果があれば教えてください。

\*' 入学成績' と' 学業成就度(大学成績)' との相関関係を研究予定  
-2008 年上半期に新入生の入学成績(修能試験、内申、論述、面接)と入学後の学校成績(単位)との相関関係について研究を行う計画

6) In what way do you think the CSAT has affected high school education?  
修能試験が高等学校の教育にどのような影響を及ぼしてきたと思いますか？

▲私教育費負担の増加

▲教科中心の自筆考査

7) What challenges or issues do you think the current university entrance examination system in Korea is facing? How could those challenges or issues be addressed?

現在の韓国の大学入試制度の問題点や争点は何だと思えますか？そのような問題点や争点はどのような方式で解決しますか？

▲大入制度の頻繁な変化

-大学の学生選抜に対して自律性と責務性を付与するが、大学は学生の特技と個性を生かす多様な選考方法を導入

▲修能試験中心の学生選抜に伴う入試中心の高校教育運営と私教育費負担の過重

-新入生選抜に対して大学に自律性を付与し、成績だけではなく学生の特技と個性を生かす多様な選考方法を導入

-大学入学選考が中等教育に及ぼす影響を減らし、高校教育が正常化を目指す

-優秀な学生の選抜にだけ重点をおかず、各大学が選抜した学生を優秀に育成し大学を発展させる方案を模索

▲大学同士の過度な競争体制及び大学序列化

-大学別特性化と専門化を通じた創造的競争体制を構築

-学力より能力が尊重される社会雰囲気と制度を整える

8) Based on your expertise and experience, please provide us with some suggestions on how to improve the connectedness between high school education and university education between high school education and

university entrance examination.

貴方の専門的経験から見て、どのように高等学校の教育と大学教育との/ 高等学校教育と大学入試との関係を改善できると思いますか？アドバイスをお願いします。



## 2009 年度実施計画

ソウル教育大学校  報道資料2008.3.19(水)	Wwww.snue.ac.kr	
	担当部署	教務処(教務チーム)
	担当者	教務処長 イワンギ(3475-2210) 教務チーム長 キムボンモ(3475-2211) 担当者 ジョンスファン(3475-2212)
	総5ページ	

### 2009 学年度入学選考主要事項案内

□ソウル教育大学校(総長 ソングァンヨン)は 2009 学年度大学入学選考計画の主要事項を確定し、これを韓国大学教育協議会(以下「大教協」)に提出し、大教協の審議を経て 2008 年 3 月末まで最終確定する予定である。

#### ＜基本方向＞

○受験生と保護者の混乱を最小化するために前年度選考の基本骨格を維持

- 入学選考類型の多様化のために随時選考を施行
- 募集時期(随時、定時)及び選考類型別募集人数の前年度水準を維持
- 面接及び論述考査は継続して施行

○受験等級制廃止による受験反映比率の上向き調整

- 一般選考(定時)受験反映比率の上向き調整
- 受験成績活用指標;「標準点数」適用

□2009 学年度大学入学選考主要事項

1. 募集時期及び選考類型別募集人数;変更事項なし

大学	所在地	募集時期	選考区分	選考類型(大分類)	選考類型(小分類)	その他(細部)類型	募集人数	
ソウル 教大	ソウル	随時2	定員内	大学別独自の基準	教科成績(内申)優秀者		80	
				大学別独自の基準	特定専攻優秀者	特定領域集中履修者	80	
		小計						160
		定時(ナ)	定員内	一般選考	一般学生	一般専攻	335	
				大学別独自の基準	国家有功者及び子孫	国家(独立)有功者(孫) 子女特別選考	5	
				大学別独自の基準	少年少女家長	少年少女家長特別選考	5	
			定員外	農漁村学生(定員外)	農漁村学生	農漁村学生特別選考	20	
				特殊教育対象者(定員外)	特殊教育対象者	特殊教育対象者特別選考	10	
		小計						375
		合計						

※2008 学年度一般選考未充員繰越人数 1 名を含む

2. (一般選考)選考要素別反映比率;受験反映比率上向き調整

学年度	募集時期	募集系列	最低学力基準	査定モデル	査定比率(%)	選考要素別反映点数																		
						学生簿			修能試験			面接口頭			論述			実技			その他			
						反映総点	基本点数	実質反映比率(%)	反映総点	基本点数	実質反映比率(%)	反映総点	基本点数	実質反映比率(%)	反映総点	基本点数	実質反映比率(%)	反映総点	基本点数	実質反映比率(%)	反映総点	基本点数	実質反映比率(%)	
2009	定時(十)	師範	特別選考のみ(基準は追って発表)	一括合算	100	320	200	15	600		75	40		5	40		5							

3. (一般選考)選考要素別反映方法

ア. 学校生活記録簿の反映方法

ア-1 学校生活記録簿の要素別反映比率;変更事項なし

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	専用対象高校卒業学年度	学年度別反映比率(100%)					学生簿要素別反映比率(100%)				
					学年共通	共通比率	1学年	2学年	3学年	教科成績	出欠状況	資格授賞	活動状況	
2009	定時(十)	師範	初等教育科	2006学年度~2008学年度	全学年共通	100					75	20		5

ア-2 学校生活記録簿教科成績反映方法;変更事項なし

学年度	募集時期	募集系列	募集単位	国民共通教科反映			選択教科反映			点数 産出 活用 指標
				反映教科数	指定/選択	反映教科	反映教科	指定/選択	反映教科	
2009	定時(十)	師範	初等教育科	全科	学生履修	全科	全科	学生履修	全科	席次等級



2009	定時(十)	師範	初等教育科	○	×	4	○	×	4	○	×				平均	なし
------	-------	----	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	----	----

ウ. 面接・口頭試験; 変更事項なし

学年	募集時期	募集系列	募集単位	面接資料	面接基準	面接方法
2009	定時(十)	師範	初等教育科	大学開発独自ツール	教師としての品性と資質及び大学修学に必要な能力を総合的に評価	-独自開発項目を活用し評価 -教職、教養など評価要素別面接

エ. 論述考査; 変更なし

学年	募集時期	募集系列	募集単位	論述類型	出題形式
2009	定時(十)	師範	初等教育科	統合的論述型	○形式; 資料提示型 ○時間及び分量; 100分1,400文字前後 ○水準; 高等学校全過程を正常に履修した者が無理なく答案を作成できる水準 ○傾向; 創意力、論理的批判的思考と幅広い読書を要求する問題

4. (特別選考)資格基準及び選考要素別反映方法

4-1 大学独自の基準の特別選考; 変更事項なし

学年	募集時期	募集人数	選考類型	志願資格	最低学力基準	選考要素別反映比率(100%)
2009	随時2	80	教科成績(内申)優秀者	○2009.2月国内高校卒業予定者(早期卒業者を除く) ○高校成績優秀者で所属高等学校長より推薦を受けた者(高校別推薦人数3人以内)	適用(細部基準は追って発表)	○学生簿60% ○論述20% ○面接20%
		80	特定専攻優秀者(特定領域集)	○国内外の高校卒業(予定)者 ○学生生活記録簿上、該当領域の教科を所定の一定単位以上履修した者	適用(細部基準は追って発表)	○論述50% ○面接50%

定時 (ナ)	5	中履修者) 国家有功者の子女	<p>○高等学校卒業(予定)者又はこれと同等以上の学力があると認定される者で2009学年度大学修学能力試験に応募した者</p> <p>○次の各号中一つの事由に該当する者</p> <p>-[国家有功者等礼遇及び支援に関する法律]第4条第1項の各号に該当する者及びその子女</p> <p>-[独立有功者礼遇に関する法律]第4条各号に該当する者の子供及び孫(母方の子女と孫)</p> <p>-[枯葉剤後遺症患者支援などに関する法律]第7条第9項(枯葉剤後遺症患者中手当て支給対象者)に該当する者の子女</p> <p>-[5.18民主有功者礼遇に関する法律]第4条各号に該当する者の子女</p> <p>-[特殊任務遂行者支援に関する法律]第3条第1号ないし第3号に該当する者及びその子女</p>	適用 (細部基準は追って発表)	一般選考と同一
	5	少年少女家長	<p>○2009.2月、国内高等学校卒業予定者で2009学年度大学修学能力試験に応募した者</p> <p>○該当居住地の市・郡・区庁長が指定した少年少女家長で国民基礎生活保障受給者</p>	適用 (細部基準は追って発表)	一般選考と同一

#### 4-2. 農・漁村学生特別選考(定員外募集);変更事項なし

学年度	募集時期	募集人数	志願資格	最低学力基準	選考要素別反映比率(100%)
2009	定時 (ナ)	20	<p>ア.農漁村地域(地方自治体法第3条による邑・面)に所在する高等学校で全教育課程を履修・卒業(卒業予定者を含む)した者で、2009学年度大学修学能力試験に応募した者</p> <p>イ.高等学校を修学する間、保護者が農漁村地域(邑・面地域)に居住した者。(死亡、離婚、その他の事由に該当する保護者は父又は母のみを基準とする)</p> <p>※2つ以上の学校に在学した場合、該当学校全てが必ず邑・面所在高等学校であること(同一邑・面でなくても可能)</p> <p>※保護者・学生の居住地は学校所在地と同一の邑・面でなくても可能</p> <p>※高等学校在学当時の行政区域単位を基準に適用するが、高等学校在学当時、邑・面だった行政区</p>	適用 (細部基準は追って発表)	一般選考と同一

		域が在学中又は卒業以降に洞に改編された場合には該当地域を邑・面として認定する ※江原道太白市地域の高等学校(ファンジ高、ジャンソン女子高、チオルアム高、テベク機械工高、ファンジ女子商業高)は邑・面地域の高等学校として認定する ※邑・面所在特殊目的高中、科学高、外国語高、芸術高及び体育高に在学した者は除く		
--	--	--	--	--

4-7. 特殊教育対象者特別選考(定員外募集); 変更事項なし

学年度	募集時期	募集人数	志願資格	最低学力基準	選考要素別反映比率 (100%)
2009	定 時 (ナ)	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高等学校卒業(予定)者又は同等以上の学力があると認定される者で、2009学年度大学修学能力試験に応募した者</li> <li>○障害者福祉法第29条により障害者登録を済ませ、特殊教育振興法第10条の規定による障害がある視覚障害、聴覚障害、肢体不自由障害者</li> <li>○本大学の特殊教育対象者の選定手続きにより2009学年度の特殊教育対象者に選定された者</li> </ul>	適用 (細部事項は追って発表)	一般選考と同一

※2009 学年度大学入学選考の主要事項は当大学の大学入学選考計画の変更に伴い大教協の審議を経て変動することがあります。

## UWAY

<http://www.uway.com/> (韓国語)

訪問日時: 2008年5月20日(火) 11:05~12:25

訪問者: 川嶋 太津夫、Insung Jung、申 昌浩、林 篤裕

対応者: Park, Sung Kwon (General Manager, Marketing Business Division)

## 進学社 (JINHAK Corp.)

<http://www.jinhak.com/index.aspx> (韓国語)

訪問日時: 2008年5月20日(火) 14:00~15:20

訪問者: 川嶋 太津夫、Insung Jung、申 昌浩、林 篤裕

対応者: Hwang, Chris (General Manager)

Joo, Jeong-Hyun (Chief Operating Officer)

James Kim (Executive Director)

林 篤裕

### 1) インターネット出願の概要

現在、韓国では、大学への出願をインターネットを経由して行なうのが一般的になっている(いわゆる「インターネット出願」)。この背景には、従来から韓国では郵送での提出は多くなく、窓口への直接提出が多かったということもこれが普及した要因の一つである。つまり、締切日が近づくにつれて出願倍率や合格可能性の算出がクリアーになってくることから、出願先を迷っている受験生にとっては、締切日直前に出願大学を決定して受付窓口に駆け込むというのが一般的であったようである。そのために、遠方であれば鉄道による移動や宿泊を伴い、また、車を飛ばして向かう等の行動が見られたようである。大学にとっても、所在地の窓口だけでなく、全国に受付窓口を臨時に開設し、出願を受け付けていた。

このような背景から、大学の願書受付業務をインターネットで代行する会社が設立された。インターネット出願が開始された1999年当初は多くの会社が参入していたようであるが、現在は淘汰されて、uwayと進学社の2社だけがこの業務を請け負っている。しかし、韓国では社会的均等を求める風土があるので、更に競争が激しくなって、1社独占体制となるようなことはなく、しばらくは、2社体制は続くであろうとのことであった。事実、両社間には紳士協定が存在するようである。受験者にとって、これら2社のどちらを選ぶかにそれほどの違いはみられないので、両社は出願に至るまでの過程における出願指導等の付加価値で受験生の取り込みを図っているようである。また、大学に対しては、入学後の学生管理システムの提供等のサービス面で競争している。現時点でのシ



エア割合は、uway(6割)と進学社(4割)とのことであった。

なお、国の教育機関である EBS(Educational Broadcasting System)は、Cyber Home Schooling という e-Learning システムを持っており、これを利用したインターネット出願事業に乗り出そうと計画したことがあったが、前記 2 社の前には断念せざるを得なかったようである。

大学にとっても、地方窓口を開設する時間や経費が節約できるだけでなく、特定の時期のみの業務集中をアウトソーシングでき、受験願書を電子化した形で受け取ることもできるので、多いにメリットがあるとのことである。現在では、願書受付窓口を開設しない大学さえもある。この契約は個々の大学と会社との契約であり、現在はどちらの会社を経由しても出願ができるようになっている。

現在でも大学ごとに願書のフォーマットは異なるので、個々の大学ごとに対応する必要があること、また、受験料の聴取業務も含まれており、金融システムともリンクされているとのことであった。

取り扱うデータの管理は非常に厳重に行なわれており、通常は重複合格がないかが判明する 6 月頃まで保存され、その後消去される。しかし、それ以前の消去を望む大学もあり、その場合は、大学の担当者が直接来社して削除作業を確認したりもしている。

なお、これは個々の大学への出願代行であり、韓国教育課程評価院(KICE)が実施している大学修学能力試験(College Scholastic Ability Test, CSAT と略)へのインターネット出願は行なわれていない。

## 2) トラブル対策

導入当初は出願が受け付けられていない等の事例が少なからず発生していたようである。2005 年には 30 名程度の学生グループによる出願受付サーバーへの過負荷攻撃により、受付が停止するというハッキングも発生した(この時は特例として締め切りを 1 日延長して対応した。また、犯人グループらは社会から相当の非難を受けたようである)。このような事態を回避するために、情報通信部は教育部(文部省)の要請に基づいて民間企業であるにも関わらず、出願時期にはサイバー警察がインターネットをモニターして、サーバーへの異常アクセスがないかを監視している。大学入試に対する社会的関心が非常に高いことの現われと言える。

このような監視体制になっていることや、10 年間の経験からノウハウが蓄積されたことから、現在は安定した運営となっている。電子メールで受付状況をアナウンスするシステム(SMS というらしい)も装備されている。

### 3) uway について

uway はインターネットベンチャーからスタートした会社である。1999 年当時の「IT 支援政策」(情報通信政策委員会)と、「学校が企業と協力して事業を行なう」と言う 2 つの政府支援政策に支えられて、このインターネット出願ビジネスに参入した。事業を開始した 1999 年時には、39 大学で、5000 枚程度(全体の 2%程度)の利用に過ぎなかったが、認知度が上がるにしたがって利用が伸び、現在は 100%(370 校程度)の利用である。この事業が軌道に乗るには 3 年を要したとのことであった。

その後、日本の Softbank が韓国で最初に投資をした会社となり、また、「中央教育」と言う会社を吸収して、現在は、教育事業を中心に事業展開を図っている。大学入学関係では、履歴書や志願書等の資料請求代行を、また、公務員試験(司法試験等)の出願代行や、一般企業の就職応募等も行なっている。他にも、塾経営や大学の広報、インターネットを利用した模擬試験、英語の再教育事業、授業料受付事業、入学者管理システム事業、入金業務代行業等を行なっている。

インターネット出願時の受験生へのサービスとしては、CSAT の採点結果や模擬試験の点数を申告することによって、出願先指導を行なっている。

### 4) 進学社について

進学社は、古くから大学進学情報を扱っていた会社で、1965 年には進学雑誌を発行し、他には、模擬試験や予備校事業(現在は撤退)を展開してきた会社である。社員数は進学社だけで 140 名程度、子会社を含めると 200 名程度の規模で、業務配分としては、入試代行業(35%)、出版事業(25%)、大学広報事業(4 割程度)とのことである。

具体的な事業内容は、入試情報・大学案内の提供や、合否判定サービス(20 万人が利用)、模擬試験事業、高校教員への説明やニュースレターの発行業等を展開している。他にも公務員試験模試、英語試験、コンテストへのエントリー代行等も行なっている。

インターネット出願の利用大学数は、開始翌年の 2000 年には、30 大学であったが、現在は 100%の利用であり、取り扱い件数は 170 万件(随時募集 100 万件、定時募集 70 万件)である。ひとりの受験者の随時募集における平均的な出願数は 3 大学(最高 20 大学程度)とのことである。模擬試験の利用者が出願代行業を利用してくれる傾向にあるので、模擬試験事業の拡充を図っている。

2010 年からは CSAT から英語が除外され、外部の試験(TOEIC/TOEFL 等)を利用することが決まっているので、それを狙って英語の模擬試験に事業展開を図っている。

本題からは外れるが、韓国の大学入試の問題点としては、大学の入試制度が複雑なことや、学歴偏重社会の弊害が挙げられるが、後者については、親の意識が変わる必要があるのではないかとの意見であった。また、受験生や親のソウル志向は、首都圏が就職に有利なために起ることであって、インターネット出願とは無関係であるということであった。